



過去と大衆文化の比較社会学



Murat Ergin

Murat Ergin (ムラト・エルギン) 氏は、現在トルコのイスタンブールにあるコチ大学準教授であり、2005年にアメリカのミネソタ大学において歴史・文化社会学で博士号(社会学)を取得されました。日本とトルコに共通する近代化と西洋化に注目し、近年はトルコと日本を比較する研究にも取り組んでいらっしゃいます。

最近の代表的な書籍と論文

“Is the Turk a White Man?” Race and Modernity in the Making of Turkish Identity
(2016年, Leiden and Boston: Brill-Studies in Critical Social Sciences)

“Academic Neo-colonialism in Writing Practices: Geographic Markers in Three Journals from Japan, Turkey and the US”
(forthcoming, Geoforum: Aybike Alkan との共著)

2019年7月5日(金)

講義 午後3時～4時半

桃山学院大学1号館306号教室

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

<問合せ: 社会学部 篠原千佳 shinohc@andrew.ac.jp>

ムラト エルギン
Murat Ergin博士

コチ大学

人文社会科学部 社会学科 准教授

Associate Professor of Sociology, Koç University

ゲスト講義のお知らせ

Guest Lecture

—学内開放 ゲスト講義—

社会人学生、留学生、院生も予約なく聴講できます。

現代日本社会学ゲスト講義(英語):

「過去と大衆文化の表象

—オスマン文化とクールジャパンの比較社会学—

Representations of the Past & Popular Culture:
Ottomania & Cool Japan in Comparative Perspective

桃山学院大学は、1966年に社会学部社会学科を創設し、社会の近代化や近代・現代文化の変容の過程に関する研究に力を入れてきました。多くの研究プロジェクトの遂行に加えて、学内コミュニティ全体への社会学研究とその共有への取り組みをさらに促すため、講義開放という形で研究情報の提供を行っています。

近年アジアでは、クールジャパン、韓流、華流などのほかに、トルコのオスマン帝国文化ドラマや関連する若者文化の流行が見られます。講義では、日本とトルコの近代化の過程と現代大衆文化の国内における人気と消費、そして世界への広がり注目します。とくに両社会の大衆文化や若者文化の現代人のアイデンティティとの関わりや、ソフトパワーとしての役割を取り上げます。